

北九州 市議会だより



NO.202

平成25年7月15日号
(年4回発行)

編集・発行
北九州市議会事務局総務課
TEL582-2622 FAX582-2685



◇市議会のホームページで「市議会だより」や本会議の「会議録」「インターネット中継」などご覧いただけます。
アドレスは<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>です。



映画「図書館戦争」ロケ地(左:北九州市立中央図書館 右:北九州市立美術館)

6月定例会が8日間の日程で開かれました!

6月定例会が6月12日から6月19日までの8日間の会期で開かれました。
市長から33件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を原案のとおり決定しました。また、議員から提出された議案は6件で、うち3件を可決しました。

主な内容	1~3面	本会議での質疑・質問と答弁
	4面	可決した意見書・決議、請願・陳情の審議結果
		常任委員会の活動状況 第4回議会報告会開催報告 など

本会議での質疑・質問と答弁

本会議での質疑・質問と答弁は、要約したものを掲載しています。
詳細を記した会議録は、9月上旬以降、市立文書館、中央図書館、門司・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館および市議会事務局でご覧いただけます。
また、市議会のホームページの会議録検索システムでも9月下旬から閲覧できます。

このため、各学校とも連携して就学相談を実施し、条件が整った場合には、積極的に県教育委員会に特別支援学級の開設を働きかけるなど、今後とも特別支援教育の充実に努めます。



国は有権者に周知するため、総務省のホームページへのインターネット選挙運動解禁特集の掲載や、チラシの作成・配布などを行っている。
本市としても、市のホームページから国のホームページにアクセスできるようにするとともに、市政だよりへの掲載や参議院選挙啓発用ポスターの掲示などにより、的確な情報提供を行いたい。現段階では市民向けの説明会は予定していないが、さまざまな媒体により周知を図り、問い合わせがあれば適切に対応したい。

特別支援教育について

議員 特別支援学級設置校に越境通学している児童生徒数、通学する学校の校区に転居した家庭数、特別支援学級の設置条件を満たすが設置できなかった校数とその理由を尋ねる。また、特別支援教育が必要な子どもたちも校区の学校に通うことが基本と考えるが見解を尋ねる。

教育長

特別支援学級の開設には、県教育委員会の認可が必要である。条件として、特別支援学級での教育が適切な同一障害の児童生徒が複数いること、引き続き特別支援学級に在籍する見通しがあること、学校に教室が確保できていることなどを満たす必要がある。条件を満たす場合は速やかに設置申請しており、25年度も要望どおり全て新設された。本年度、校区外の特別支援学級に通学している児童生徒数は357名であるが、保護者の希望を伺いながら、利便性を考慮し就学先を決定している。特別支援学級に通学するため転居した家庭数については、全て把握していない。なお、公共交通機関により特別支援学級へ通学する場合は、交通費を援助している。教育委員会としても、居住地の学校に特別支援学級が設置されることが望ましいと考えており、ニーズのある全ての小・中学校に設置することを目指している。

インターネットによる選挙運動解禁について

議員 インターネットによる選挙運動解禁に関する公職選挙法の一部を改正する法律が、平成25年4月26日に公布された。有権者の誤解やトラブルを防止するための対策と市民向け説明会の実施について、見解を尋ねる。

選挙管理委員会

インターネット等の普及に伴い、選挙運動期間における候補者に関する情報の充実、有権者の政治参加の促進などを図るため、公職選挙法が改正され、参議院選挙からインターネット等を利用した選挙運動が解禁される。具体的には、ウェブサイトや電子メールを利用した選挙運動の解禁などの内容が盛り込まれているが、電子メールの利用は、候補者、政党等に限定されており、有権者の利用は引き続き禁止されている。

本会議では、各会派から次の18人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- 荒川 徹 (日本共産党)
- 浜口 恒博 (ハートフル北九州)
- 木下 幸子 (公明党)
- 西田 一 (自由民主党)
- 田中 光明 (日本共産党)
- 吉田 幸正 (自由民主党)
- 加藤 武朗 (日本維新の会)
- 波田 千賀子 (日本共産党)
- 八木 徳雄 (みんなの党)
- 吉村 太志 (地域の声)
- 本田 忠弘 (公明党)
- 山本 真理 (ふくおかネット)
- 奥村 直樹 (ハートフル北九州)
- 岡本 義之 (公明党)
- 鷹木 研一郎 (自由民主党)
- 八記 博春 (日本共産党)
- 森 浩明 (ハートフル北九州)
- 佐藤 茂 (自由民主党)